

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 04-175916  
 (43)Date of publication of application : 23.06.1992

(51)Int.CI. G06F 1/26  
 G06F 1/00

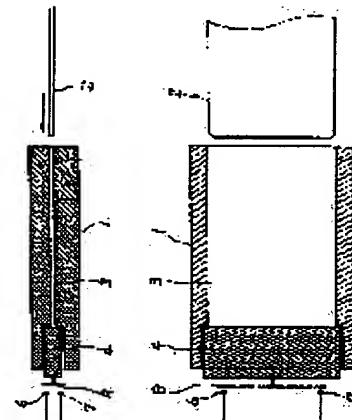
(21)Application number : 02-302390 (71)Applicant : HITACHI LTD  
 (22)Date of filing : 09.11.1990 (72)Inventor : SUMITANI NORITAKA

## (54) CARD TYPE POWER CLOSING MECHANISM

### (57)Abstract:

PURPOSE: To simplify an operation procedure by providing a switch which turns the power source ON and OFF by the insertion and extraction of a card in a slot, and recording information specific to a user of the card for the automatic startup of the device.

CONSTITUTION: The switch which turns the power source ON and OFF by the insertion and extraction of the card 2 is provided in the card insertion slot 3 of the card reader 1. Therefore, the depression of the power switch and a read of the card 2 are performed only by inserting the card 2. Further, the user information is recorded on the card 2 and then an information processor can refers to the user information at the time of the startup, so another user who uses this device can obtain the user environment of last use without any setting operation. Consequently, the operation procedure is simplified.



### LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

## ⑯ 公開特許公報 (A)

平4-175916

⑯ Int. Cl. 5

G 06 F 1/26  
1/00

識別記号

370 B  
370 E

庁内整理番号

7832-5B  
7832-5B  
7832-5B

⑯ 公開 平成4年(1992)6月23日

G 06 F 1/00 331 C

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全4頁)

⑯ 発明の名称 カード式電源投入機構

⑯ 特 願 平2-302390

⑯ 出 願 平2(1990)11月9日

⑯ 発明者 隅 谷 典 孝 神奈川県秦野市堀山下1番地 株式会社日立製作所神奈川工場内

⑯ 出願人 株式会社日立製作所 東京都千代田区神田駿河台4丁目6番地

⑯ 代理人 弁理士 小川 勝男 外1名

## 明 細 書

## 1. 発明の名称

カード式電源投入機構

## 2. 特許請求の範囲

1. カード挿入スロットとカード読取り部より成るカード読取装置において、スロット内部にカードにより電源投入切斷が可能な手段と、該カード読取装置により、読取るカード上に、該カード読取装置を含む、情報処理装置群を立上げるために必要な、初期設定(ゼネレーション)情報を記録する手段を設けたことを特徴とするカード式電源投入機構。

## 3. 発明の詳細な説明

## 【産業上の利用分野】

本発明はカード読取装置及び、該カード読取装置を有する機器において、カードを入れることにより該機器の電源投入及び、該機器の立上げを行う方法に関する。

## 【従来の技術】

従来の装置は、特開平1-171178等をは

じめとして、通常、装置の電源が入っていることを前提として、カード読取を行っていた。即ち、カード読取を実行するに際し、利用者はまず、カード読取装置や、該カード読取装置を接続する情報処理装置本体の電源を入れ、該カード読取装置が、カード読取可能な状態となってから、カードを装置に入れていた。

## 【発明が解決しようとする課題】

上記従来技術は、現金自動支払機のように、利用方法が一定で頻繁に、カードの読取りを行う場合には問題ないが、装置の利用の間合が空いていて、且つ、パソコンやワークステーションのように利用者毎に、利用環境が異なる可能性がある場合(一台のパソコンが不特定多数の利用者により幾通りもの使い方をされる場合)、利用者毎にユーザ番号の入力を始めとして、ファイルの操作、プログラムの起動等を行う必要がある。ところが、1人の利用者に限って見ると、毎回の利用内容はほとんど一定している。本発明の目的は、カード(磁気カード、ICカード等)を用いて、電源投

入から、装置の立上げまでの操作のうち定形的なものを省き（自動化し）、操作手順を簡略化することにある。

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために、スロット内部に、カードの挿抜により電源投入切断ができるスイッチを設けたものである。

また、装置の自動立ち上げのためには、カードに、利用者固有の情報（利用者番号、使用環境、使用ファイル名等）を記録したものである。

【作用】

カード読取装置のカード挿入スロット内に、カードの挿抜により、電源の投入切断を可能とするようなスイッチを設けることにより、従来、電源スイッチ押下とカードを読取らせるという2つの操作を、カードの挿入という1回の操作で行うことができる。

また、利用者情報をカードに記録することにより、情報処理装置は立上げ時に利用者情報を参照することが可能になるので、他の利用者が使った

る。

第2図は、第1図に示した、カード読取装置を使ったワークステーション（以下、WSと略）の例である。第3図は本カード式電源投入機構を組込んだ情報処理装置（例）のブロック図である。第4図は第3図に示した装置の動作フロー図である。利用者は、予め与えられているカードをカード読取装置に入れると、装置の電源が入る。MPU11は、ROM12に格納されたプログラムに従い動作を始めるが、ハードウェアの初期診断の後、まず最初に、カード読取装置20を起動し、カード上に記録されている利用者番号や、初期設定情報をカード読取装置コントローラ19、出入力バス16、出入力プロセッサ15、システムバス14を経由してDRAM13に格納する。次に、ハードディスク22に格納されている利用者番号及び対応するパスワードとの照合を行い、一致すれば次に、カード記録情報により立ち上げるか、手入力により立上げるかを利用者に問合せ、キーボード18からの入力により、カード記録情報

後でも、これから使用しようとする利用者は、前回使用した時の使用環境を、設定作業なしに、得ることができる。

【実施例】

以下、本発明の一実施例を第1図及び第2図により説明する。

第1図は、内部に電源スイッチを設けたカード読取装置の概念図である。カード型媒体2としては磁気カード、ICカード、光記録式カード等いずれでもよい。本体1内に、カード挿入スペース（スロット）3があり、その最奥部に電源スイッチボタン4がある。カード2をスロット3に沿って押込むと、カード2の先端部がボタン4に当たり、ボタン4を押下げ、ボタン4と一体になった金属片8は、電源回路端子6、7に接触し、電源回路を閉じる。尚、第1図では、単純なスイッチ構造を示しているが、回路を開閉する機能を有していれば、本例に限ったものではない。カード読取り機構については既に、媒体の記録方式毎にいくつもの方式が知られており、図では省略してい

による立上げが指示されればそのまま、自動立上げモードにて立上げ動作を行い、手入力による立上げが指示されれば、手入力モードとなり、キーボード18等からの入力待ちとなる。

【発明の効果】

本発明によれば、カード挿入動作が電源投入とゼネレーション情報の入力を兼ねているので操作手順の簡略化が図れる。

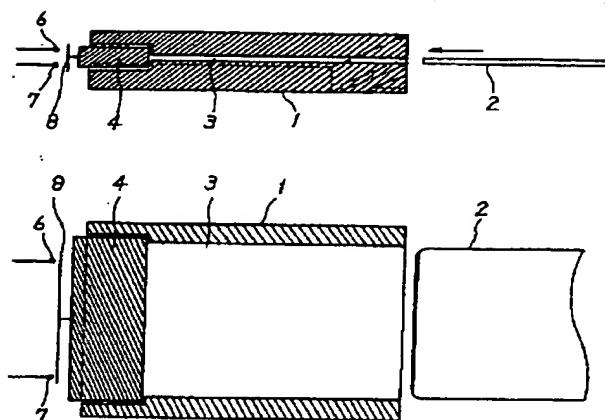
4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例の電源スイッチボタンがスロット最奥部にある場合を示す図、第2図は第1図のカード読取装置をワークステーション内に装着した図、第3図は本カード式電源投入機構を組込んだ情報処理装置のブロック図、第4図は第3図で示される情報処理装置における立上げ動作フロー図である。

1…カード読取装置本体、2…カード、3…スロット、4…電源スイッチボタン、5…欠番、6、7…回路端子、8…回路端子間接続用金属片、9、10…欠番、11…MPU、12…ROM、13…

DRAM、14…システムバス、15…入出力ブロセサ、16…入出力バス、17…キーボードコントローラ、18…キーボード、19…カード読取装置、20…カード読取装置、21…ハードディスクコントローラ、22…ハードディスク。

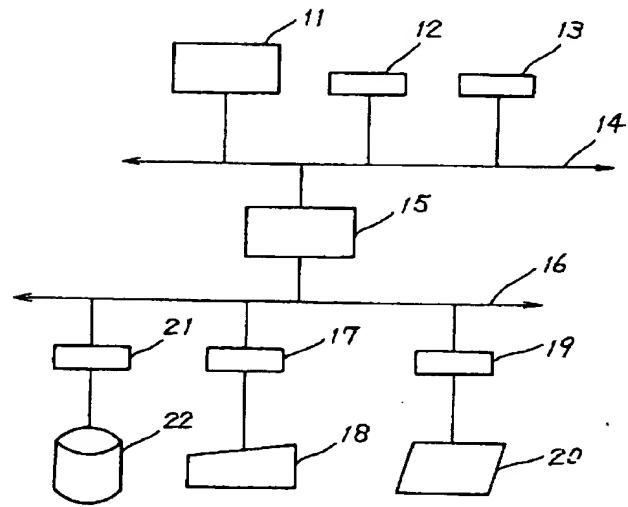
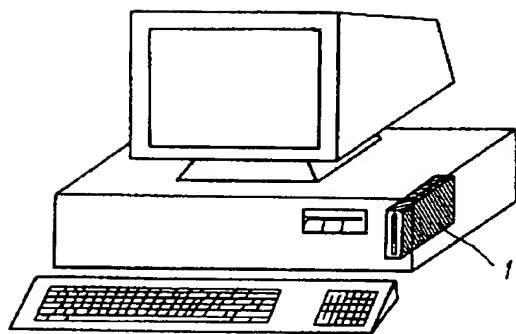
第 1 図



代理人弁理士 小川勝男

第 3 図

第 2 図



第4図

